

ベトナム 果実・野菜の輸入は中国産と米国産に牽引されて24%増加

[FreshPlaza 2025年2月18日](#)

最新の税関データによると、ベトナムは昨年、中国と米国から15億米ドル相当の果実と野菜を輸入し、これは総輸入額の約3分の2を占めた。中国からの輸入額は10億ドル近くで、輸入量は25%増加した。米国からの輸入は64%増加し、ベトナムの16の輸入先の中で最も高い増加率を記録した。

オーストラリアは、輸入額が1億5,100万ドルで3番目に大きな供給国にランクされた。税関の報告によると、ベトナムの果実と野菜の輸入額は全体として24%増加し、24億ドルに達した。主な輸入品は、リンゴ、ブドウ、ピスタチオ、アーモンド等であった。

業界筋によると、地域的な包括的経済連携(RCEP)やベトナム・米国二国間貿易協定(TPA)等、減税や技術的障壁の引き下げを含む貿易協定が、中国と米国からの輸入の増加を促進している。

ベトナム果実野菜協会のダン・フック・グエン書記長は、「輸入品は通常、品質が高く価格競争力がある」と指摘した。近年中国は、以前は日本や韓国から輸入されていた高品質な農産物を、これらの国に比べてごくわずかなコストで生産している。

アメリカ産のリンゴは、ニュージーランド産やオーストラリア産のリンゴよりも手頃な価格で、ベトナムでの人気を獲得した。一方、韓国、インド、ニュージーランドからの輸入は、2023年に比べて12~17%減少した。

出典: [VNExpress](#)

オーストラリア ブドウは好天が続けば良い年に

[FreshPlaza 2025年2月18日](#)

オーストラリア生食用ブドウ協会のジェフ・スコットCEOは、同国のブドウ生産者達は今シーズン、素晴らしい豊作と品質の良いブドウを目の当たりにしているとしつつ、「収穫は12月中旬に始まった。今シーズンは多くの新品種がフル生産されており、収穫は5月まで続く」と述べている。(以下「」は同氏の話)

「昨年末の雨は地域が限られ、ブドウの木に十分な水を与えた。これまでの天候は素晴らしく、このまま行けばオーストラリア産のブドウにとって良い年になるだろう。」

昨年のブドウの収量は例年に比べて25%少なかったが、今年は例年より25%多くなりそうである。

「今年は量が多くなると見られ、品質も非常に良好である。通常の品種はすべて揃っており、人気のある多くの新品種がフル生産されている。生産者は一貫してより多くの新品種を植えている。国内のほか、輸出市場でも需要がある。国内市場向けに栽培する生産者もいれば、海外市場をターゲットにする生産者もいる。ここオーストラリアの価格が高く、輸出する必要がないことも多い。」

昨年7月には、オーストラリアはクリムゾンシードレス、レッドグローブ、トンプソンシードレスに限って輸出が許可されていた日本に他の品種を輸出できるようになった。今では150種類の品種を輸出することができる。

「このことは大きな反響を呼び、今年は多くのブドウが日本に輸出されるだろう。ブドウの品質が良い時に始められるのは素晴らしいことだ。また、ニュージーランド、韓国、インドネシアからも強い需要が見られる。」

執筆者: ニコラ・マクレガー